

## 平成30年度（公財）津山社会教育文化財団 事業計画書

### 1. 平成30年度概況

当財団は、公益財団法人の認可を受けてから6年目になる。本年度は下記項目について更なる充実を図る。

#### (1) 公益事業(教育普及活動)の充実

中核施設である「津山科学教育博物館（つやま自然のふしぎ館）」における

- ① 各種研修、企画事業(夏季に実施するナイトミュージアム等)の実施。
- ② ホームページの一新、館内ストリートビューの導入等によるPR活動の強化。
- ③ 館外における出前講座、講演会の実施。

#### (2) 公益財団法人として法令の遵守及び理事会、評議員会等の充実。

### 2. 博物館の運営（定款4条第1項）

（事業費：10,047千円）

#### (1) 博物館の開館状況

- ・開館日数：年間 313日（休館日52日）

注）1, 2, 6, 11, 12月は月、火曜日が休館。3, 7, 9月は月曜日が休館。

（その他の月と祝日は全日開館）

年末年始（12月29日～1月2日）は休館。

- ・開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

#### (2) 展示品、保管品

##### ① 津山科学教育博物館（つやま自然のふしぎ館）

・ 動物のはく製標本	1,200点	
・ 化石、鉱石類の標本	1,270点	（一部ケース単位）
・ 蝶、昆虫類の標本	220点	（ケース単位）
・ 貝類標本	1,870点	（ケース単位）
・ 人体生理標本（実物、模型）	130点	
・ その他関連する標本類	460点	
合 計	5,150点	

注）ケース単位：小物単品が複数個ケースに収納されている。

##### ② 歴史民俗館

・ 津山商人、津山藩及びキリスト教関係資料	690点	
		（図書関係の一部は③へ移動）
・ その他の関連資料	100点	
合 計	790点	

③ 森本慶三記念館

・ 図 書	66,800点
・ 備 品	210点
合 計	67,010点

(3) 入館料 (円)

	大人 (高校生以上)	小人 (小中学生)	幼児 (4,5歳)
つやま自然のふしぎ館	700	600	400
歴史民俗館	500	300	無料
両館共通	1000	700	400

障がい者、高齢者（70才以上）、団体（20人以上）割引有り

3. 企画事業（定款第4条第1項）（事業費：第2項「博物館の運営」に含む）

(1) 津山科学教育博物館（つやま自然のふしぎ館）の企画事業

① 第5回ナイトミュージアムの実施。

- ・ 期 日：8月上旬
- ・ 内 容：夜間博物館を開放し、野生動物の夜の生態を観察する。

② 子供体験教室

- ・ 期 日：7～9月（岡山県環境保護センターと連携実施）
- ・ 内 容：小中学生を対象に参加型体験教室を実施。

③ 博物館実習

- ・ 期 日：8月中旬 8日間
- ・ 内 容：学芸員資格取得希望の大学生に対し、博物館実習を実施。

④ 講演会

- ・ 期 日：6～10月 2～3回
- ・ 内 容：「地球温暖化と野生動物保護」に関する講演会。
- ・ 対 象：県内高校、大学（要望に応じて実施）

⑤ 館内研修会

- ・ 期 日；下期 2～3回
- ・ 内 容：館内展示動物を観察しながら野生動物の生態を確認する。
- ・ 対 象：県内高校、大学（要望に応じて実施）

(2) 歴史民俗館の企画事業

① 講演会

- ・ 期 日：随時
- ・ 内 容：「津山商人の歴史と文化」に関する講演会。
- ・ 対 象：津山市在住成人団体（町内会、市民グループ等の要望に応じて実施）

4. 展示品、資料等の収集、展示公開（定款第4条第1項）
  - (1) 資料の購入 本年度は無し。
  - (2) 資料の貸出 他館または公共施設からの要望に応じて随時貸出し予定。
5. 設備改修計画  
財団施設内の崖の崩落防止対策。
6. その他  
森本慶三記念館（登録有形文化財）の建物管理及び公開。（定款第4条第2項）

以上